

礼拝へようこそ

本日は、礼拝にようこそおいでくださいました。

礼拝は、わたしたちを造り、愛して下さる神様との出会いの場です。神様がここに私たちを導いてくださいました。この礼拝によって神様から恵みを受けて、私たちは新たに一週間の歩みをはじめていきます。初めて礼拝に出席されたときは戸惑うことも多いと思います。下記に礼拝の流れを記しました。参考にできれば幸いです。

<神の招き>

○前奏

神様の御前であることを思いつつ、オルガンの音を聞きながら礼拝の姿勢を整えます。

招詞: 私たちを招く神様の言葉が司式者によって読まれます。

○頌栄

讃美歌によって神様をほめたたえます。

○詩篇交読

讃美歌の後ろにある「交読詩篇」によって詩篇を司式者と会衆で交読します。一段さがっている部分が会衆の読む部分です。

○祈祷:

司式者また説教者によって、神様に祈りが献げられます。

○祈りの最後にはともにアーメンと唱えます。

<神の言葉>

○聖書

聖書が「神の言葉」として朗読されます。旧約聖書の箇所は(旧〇〇) ページと書いてあるところ、新約聖書は(新〇〇) ページとあるところをお開きください。

○讃美歌

神様をたたえ、神様に感謝し、祈りをこめて讃美歌を歌います。

○説教

聖書を通して与えられた神の言葉を牧師が説教し、福音(ふくいん)を告げます。

○聖餐

パンをキリストの体として、ぶどう液をキリストの血とし、食し、キリストの恵みが自分に与えられていることをかみしめます。これは信仰によってあずかる食事ですので、洗礼を受けておられない方はあずかることができません。

<感謝の応答>

○信仰告白

初代の教会から受け継がれてきた「使徒信条」という信仰告白をともに唱えます。週報の裏をごらんください。

○献金

神様の恵みを受けたことに感謝し、神様のために生きる意思をあらわす「しるし」として献金をささげます。袋が回ってきますのでその中に入れてください。

○主の祈り

主イエス・キリストが教えてくださった全世界共通の祈りをともに祈ります。

<祝福>

○祝福

牧師が神様の祝福の言葉をもって祈り、会衆を祝福します。

○後奏

オルガンの音を聞きながら、祈りつつ、感謝のうちに礼拝が終わります。

○報告

教会としてともに祈りにおぼえる事柄が司式者によって報告されます。

※キリストとは教会の証する救い主。人となられた神の御子です。

※アーメンとは「本当に」、「まことにそのとおりです」という意味です。祈りの終わりに心を込めて全員で唱和します。

※「福音」(ふくいん): 「良い知らせ」という意味です。キリストによって私たちに神様から良い知らせがもたらされました。

※主: 「キリスト」あるいは「父なる神様」のことです。

※その他、御不明な点がありましたら、牧師か、お近くの教会員までお尋ねください。

長野教会へようこそ 教会案内も是非ご覧ください

